

商品名 オピセゾールコデイン液*（日医工） 医薬品基本情報

薬効	2249 その他の鎮咳去たん剤	一般名	鎮咳去たん配合剤（1）液
英名	Opisezol codeine	剤型	液
薬価	3.20	規格	1mL
メーカー	日医工	毒劇区分	（劇）

オピセゾールコデイン液*（日医工）の効能・効果

(急性気管支炎、上気道炎)の(咯痰咯出困難、咳嗽)

オピセゾールコデイン液*（日医工）の使用制限等

- 重篤な呼吸抑制、気管支喘息発作中、重篤な肝機能障害、慢性肺疾患に続発する心不全、痙攣状態、ストリキニーネ中毒、てんかん重積症、破傷風、急性アルコール中毒、アレルギーで過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、18歳未満の重篤な肺疾患、18歳未満の肥満、18歳未満の閉塞性睡眠時無呼吸症候群、重篤な肺疾患を有する小児、肥満を有する小児、閉塞性睡眠時無呼吸症候群を有する小児
- 心機能障害、呼吸機能障害、脳器質的障害、ショック状態、代謝性アシドーシス、甲状腺機能低下症、粘液水腫、アジソン病、副腎皮質機能低下症、薬物依存の既往、尿道狭窄、前立腺肥大による排尿障害、尿路手術術後、器質的幽門狭窄、最近消化管手術を行った、麻痺性イレウス、痙攣の既往、胆石、胆嚢障害、重篤な炎症性腸疾患、腎機能障害、肝機能障害<重篤な肝機能障害を除く>、授乳中でCYP2D6の活性が過剰、遺伝的にCYP2D6の活性が過剰

記載場所 使用上の注意

注意レベル 禁止

記載場所 使用上の注意

注意レベル 注意

オピセゾールコデイン液*（日医工）の副作用等

- 依存性、あくび、くしゃみ、流涙、発汗、悪心、嘔吐、下痢、腹痛、散瞳、頭痛、不眠、不安、せん妄、振戦、全身筋肉痛、全身関節痛、呼吸促迫、退薬症候、息切れ、呼吸緩慢、不規則呼吸、呼吸異常、呼吸抑制、錯乱、無気肺、気管支痙攣、喉頭浮腫、麻痺性イレウス、中毒性巨大結腸
- 不整脈、血圧変動、顔面潮紅、眠気、眩暈、視調節障害、発汗、悪心、嘔吐、便秘、腹痛、口渇、過敏症、発疹、そう痒感、排尿障害
- 脊髄刺激効果、薬物依存、重篤な呼吸抑制、呼吸抑制、頭蓋内圧上昇、昏睡、胆道痙攣、巨大結腸症、退薬症候、多動、神経過敏、不眠、振戦、催奇形作用、化骨遅延、モルヒネ中毒、傾眠、哺乳困難、呼吸困難、死亡、意識不明、痙攣、錯乱、血圧低下、重篤な脱力感、重篤なめまい、嗜眠、心拍数減少、不安、縮瞳、皮膚冷感

記載場所 重大な副作用

頻度 頻度不明

記載場所 その他の副作用

頻度 頻度不明

記載場所 使用上の注意

頻度 頻度不明

オピセゾールコデイン液*（日医工）の相互作用

1. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象 呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静

投与条件 -

理由・原因 相加的に中枢神経抑制作用が増強

指示 注意

2. 薬剤名等：吸入麻酔剤

発現事象 呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静

投与条件 -

理由・原因 相加的に中枢神経抑制作用が増強

指示 注意

3. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象 呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静

投与条件 -

理由・原因 相加的に中枢神経抑制作用が増強

指示 注意

4. 薬剤名等：三環系抗うつ剤

発現事象 呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静

投与条件 -

理由・原因 相加的に中枢神経抑制作用が増強

指示 注意

5. 薬剤名等： β -遮断剤

発現事象 呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静

投与条件 -

理由・原因 相加的に中枢神経抑制作用が増強

指示 注意

6. 薬剤名等：アルコール

発現事象 呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静

投与条件 -

理由・原因 相加的に中枢神経抑制作用が増強

指示 注意

7. 薬剤名等：クマリン系抗凝血剤

発現事象 作用を増強

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

8. 薬剤名等：抗コリン作動性薬剤

発現事象 尿貯留、麻痺性イレウスに至る重篤な便秘

投与条件 -

理由・原因 相加的に抗コリン作用が増強

指示 注意

9. 薬剤名等：ナルメフェン塩酸塩水和物

発現事象 本剤の効果が減弱

投与条件 -

理由・原因 μ オピオイド受容体拮抗作用により、本剤の作用が競合的に阻害

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.